

環 環 審 第 27 号
平成13年 2 月 8 日

宮城県知事 浅野 史郎 様
(環境生活部環境政策課扱い)

仙台市長 藤井 黎



大和リサーチパーク造成事業に係る環境影響評価方法書に対する意見
について (回答)

平成13年 1 月 5 日付け環政第 1 1 9 号にて通知のありましたこのことについて、環境の
保全の見地からの意見につきましては次のとおりです。

記

- 1 意見の内容 別紙のとおり

仙台市環境局環境部環境影響審査課
担当：審査係 森
〒980-8671
仙台市青葉区国分町 3-7-1
TEL:022-214-0013
FAX:022-214-0580



環境影響評価方法書に対する意見

- 1 事業者の名称及び代表者氏名等
名 称 宮城県土地開発公社
代表者氏名 理事長 森 熊三郎
所 在 地 仙台市青葉区上杉1-2-3 宮城県自治会館4階
- 2 対象事業の名称
大和リサーチパーク造成事業
- 3 対象事業の種類
第一種事業（工場・事業場用地造成事業）
- 4 対象事業の規模
81.5ha
- 5 対象事業実施区域
宮城県大和町小野字前沢地内
- 6 環境の保全の見地からの意見

（全体的な事項）

- 当該事業地は、市街地に近接して里山などの自然が残されている丘陵地であることから、自然環境の保全と周辺の自然との調和に配慮した環境影響評価及び事業実施を行うよう求めるべきである。
- 方法書中に「既存文献等を参考にする」、「類似事例の引用または解析を行う」等の記述が見られるが、文献や事例、またはその解析方法等を引用する際はその可否について検討した上で、文献名等の具体的な明示や事例、解析方法等の引用を行うよう求めるべきである。

（大気環境に関する事項）

- 騒音の予測・評価にあたっては、測定地点のみの視点ではなく、それらのつながりをもとに影響を面として捉えて行うよう求めるべきである。

（植物に関する事項）

- 植物相のみならず、植物群落に関しても、早春植物を考慮した調査時期を加えた調査の実施を求めるべきである。

(生態系に関する事項)

- 事業地やその周辺の生態系の特性を把握するためには、上位性（生態系において上位に位置すること）を示す種のみならず、当該地域に生育、生息する典型性を示す種、群集にも着目して、そこに生じる当該事業の影響の調査、予測及び評価を行うよう求めるべきである。
- 今後の調査で行動圏の広い稀少猛禽類等の存在が明らかになった場合は、事業による生息環境への影響を考慮し、必要に応じて調査範囲や調査期間の検討を行った上で調査、予測及び評価を行うよう求めるべきである。